

社会科学学習指導案

日 時 令和2年11月10日(火) 5校時
 学 級 3年B組(22名) こすもすC組(1名)
 場 所 3年B組教室
 授業者 坂本 高広

- 1 単元名 第4章 私たちの暮らしと経済 3節 価格の働きと金融
- 2 教材名 1 市場経済の仕組み (1/5)
- 3 目 標 価格に関する身近な事例を基に、市場経済の基本的な考え方に気づき、市場における価格の決め方について理解する。
- 4 学習活動の流れ

段階	時間	学 習 活 動	◇教師の指示 ●教師の支援 ◎形態 ★評価
課題設定	10	① 市場について確認する。 ② 資料1の価格に関する疑問に答えられる？ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 学習課題 商品の価格はどのようにして決まるのだろうか？ </div>	●実物を使って簡潔に説明する。 ◎個人→ペアで確認 ●価格変化の要因が消費者側・生産者側のどちらにあるか分類することで、後の需要と供給の考え方に結びつける。
	25	③ 予想を立てる。 <u>対話と思考</u> ④ きゅうりの入荷量と価格の関係で気づいたことは？ ・入荷量が多い時期は価格が安く、少ない時期は価格が高い。 ⑤ 「公民にチャレンジ」から買い手と売り手の気持ちを考えよう。 ⑥ 需要量・供給量・価格の関係を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <u>学習の成果</u> </div>	◇資料2にきゅうりの価格を折れ線グラフで書き込むよう指示。 ◎個人で作業→ペア→全体で確認 ◇グラフを作成し、売り手と買い手の気持ちを考えるよう指示。 ◎個人で作業→ペアで確認 ◇プリントを使って確認するよう指示。 ◎個人で作業→ペアで確認
まとめ	15	⑦ 資料1の価格に関する疑問を需要と供給を使って説明しよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 例：休暇の人が多く、観光地のホテルや旅館の宿泊に対する需要量が増えるが、供給量は変わらないため、価格が上がる。 </div>	●導入で考えたことを、学習内容(需要量と供給量)を生かして深めさせる。 ◇Dは共通。+1を個人で選択。 ◎個人→ペア→全体で確認。 ★商品の価格の変化と需要量・供給量との関係について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。(思考・表現・判断)

5 本授業での「対話と思考」に係る構想

本授業では、商品の価格が需要量と供給量との関係によって変化することをつかませたい。

そのため、2つのグラフの作成を通して、価格の決め方に迫る。1つ目は「きゅうりの入荷量と価格の動き」のグラフである。作図の結果から、入荷量が多い時期は価格が安く、入荷量が少ない時期は価格が高いことを読み取らせ、入荷量の変化が価格の変動に関わっていることを理解させたい。2つ目は「キャベツの需要曲線・供給曲線」のグラフである。作図した需給曲線を基に、価格の上下によって需要量と供給量が増減することを理解させたい。

そして、導入で考えた「価格に関する疑問」を、学習した需要量と供給量を使ってもう一度考えさせることによって、価格の変化と需要量・供給量との関係を理解し、表現できるようにしたい。